

令和6年度第7回 金沢医療センター治験審査委員会

【会議の記録の概要】

開催日時：2024年10月21日 16時30分～16時48分

開催場所：金沢医療センター 大会議室(大)

出席委員：大西 一郎 加賀谷 尚史 藤沢 弘範 坂尻 顕一 池田 和夫 山口 悟
沖垣内 一幸 藤田 恵子 八田 裕之 中村 明子 吉野 ゆかり

欠席委員：

— 議題及び審議結果を含む主な議論の概要 —

【審議事項】

議題1：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：19007）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書別冊の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題2：サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社の依頼によるB型慢性肝炎患者を対象としたGSK3228836の長期追跡調査試験（整理番号：21003）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題3：バイエル薬品株式会社の依頼による非糖尿病性慢性腎臓病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せしたfinerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、第III相試験（整理番号：21004）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題4：日本新薬株式会社の依頼によるNS-304の後期第II相試験（整理番号：21006）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題5：アストラゼネカ株式会社の依頼によるコントロール不良な喘息を有する成人及び青年患者を対象に、ブデソニド+グリコピロニウム+ホルモテロールフマル酸塩の固定用量3剤配合剤の有効性及び安全性を評価する試験（整理番号：21011）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題6：グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼によるPhase 3

Multicenter, Randomized, Double-Blind, Study to Assess the Efficacy and Safety of Treatment with Bepirovirsen in Nucleos(t)ide Analogue-treated Participants with Chronic Hepatitis B Virus (B-Well2)（整理番号：22010）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題7： ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするゲセルクマブ皮下投与による導入療法の有効性及び安全性を評価する第3相試験(整理番号:22013)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題8： (治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン合同会社の依頼によるA randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter phase III study to evaluate the efficacy and safety of ABX464 once daily for induction treatment in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法としてABX464を1日1回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第III相試験(整理番号:23004)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。その他文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題9： (治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン合同会社の依頼によるA randomized, double-blind, multicenter phase III study to evaluate the long-term efficacy and safety of ABX464 25 mg or 50 mg once daily as a maintenance therapy in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第III相試験(整理番号:23005)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題10： バイエル薬品株式会社の依頼による中枢神経系(CNS)病変を有する又は疑われる成人患者を対象にMRI 検査におけるgadoquatrane 0.04mmol Gd/kg の有効性及び安全性について既承認の環状型ガドリニウム系造影剤(mGBCA)0.1 mmolGd/kg を対照に検討する多施設共同、無作為化、前向き、クロスオーバー、第III相、二重盲検試験(整理番号:23008)

治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・藤沢 弘範委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題11： バイエル薬品株式会社の依頼による中枢神経系(CNS)以外の身体領域に病変を有する又は疑われる成人患者を対象にMRI検査におけるgadoquatrane 0.04 mmol Gd/kgの有効性及び安全性について既承認の環状型ガドリニウム系造影剤(mGBCA)0.1 mmol Gd/kgを対照に検討する多施設共同、無作為化、前向き、クロスオーバー、第III相、二重盲検試験(整理番号:23009)

治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・大西 一郎委員長及び加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題12 : MSD株式会社の依頼によるMK-0616第Ⅲ相試験(整理番号:23010)
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験分担医師、同意説明文書、治験薬概要書の変更、そ
の他文書の追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題13 : ヤンセンファーマ株式会社の依頼による心房細動を有する参加者を対象とした経口
第Ⅰa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第
3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験(整理番号:
23011)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施する
ことの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題14 : 大塚製薬株式会社の依頼による統合失調症患者を対象としたプレクスピプラゾール
週1回製剤(QW製剤)の薬物動態に対する食事の影響検討試験(第Ⅰ相試験)(整理
番号:23012)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験実施計画書、治験期間、同意説明文書、その他文書
の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題15 : 日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3819469の第Ⅲ相試験(整理番号:
23015)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施するこ
との妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題16 : (治験国内管理人)パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼による未治療の転
移性非扁平上皮非小細胞肺癌(NSCLC)を有する成人患者を対象として、GME751
(ペムブロリズマブのバイオ後続品候補)の有効性、安全性及び免疫原性をEUで既承
認のキイトルーダ®と比較する無作為化、二重盲検、並行群間比較試験(整理番号:
24002)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験実施計画書、治験薬概要書、その他文書の変更に伴
い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題17 : ヴィアトリス製薬合同会社の依頼によるIgA腎症患者を対象としたVR-205の第Ⅲ相試
験(整理番号:24003)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの
妥当性について審議した。治験実施計画書、その他文書の変更に伴い、引き続き治
験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題18 : (治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン合同会社の依頼による、症候性心不
全を対象とした第Ⅲ相試験(整理番号:24004)

治験実施計画書、被験者の募集の手順に関する資料の変更、その他文書の追加に
伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題19 : MSD株式会社の依頼による高コレステロール血症の成人患者を対象にMK-0616を投与した際の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、非盲検延長試験(整理番号: 24005)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験分担医師、治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

議題20 : (治験国内管理人)パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼によるA study to assess toripalimab alone or in combination with tificemalimab as consolidation therapy in patients with limited-stage small cell lung cancer (LS-SCLC) 限局型小細胞肺癌 (LS-SCLC) 患者における Toripalimab 単剤療法または Toripalimab + Tificemalimab 併用療法を用いた地固め療法の評価(整理番号: 24006)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

【報告事項】 報告1. 開発の中止等に関する報告書: C5241009 (2024年9月13日)

報告2. 治験終了報告書: C5241009 (2024年10月3日)

報告3. 迅速審査結果報告

治験分担医師の変更: NPC-25-6、70033093AFL3002、1378-0020

報告4. 令和6年9月末時点の金沢医療センターにおける治験実施状況について

報告5. 令和6年度 第6回 金沢医療センター 治験審査委員会 会議記録概要 (令和6年度9月IRB)について